

「学校訪問シート」「志望校選定シート」の使い方

STEP1 「学校訪問」をする前に

●学校の Web サイトなどで下調べをしておきましょう

学校訪問シートの「学校名」「最寄駅」「部活動」などは前もって調べ、記入しておくといいでしょ。保護者の方だけで参加される場合でも、事前にお子さまとその学校の Web サイトを見ながら、お子さまの印象を聞いてみると、子どもが何を気にしているか、どこをチェックすればよいかわかります。

< point > 通学経路も要チェック！

複数の交通手段がある場合には、お子さまが実際に通学することになったときのことを考え、どれにするか決めるのがおすすめです。多少時間がかかっても乗換えが少なかったり、ラッシュに巻き込まれにくかったりする路線の方がよいかもしれません。毎回違う交通手段で行ってみてどの経路がよいか調べる、という方もいらっしゃるようです。

STEP2 「学校訪問シート」に記入する

●「印象」と「比較したいポイント」中心にメモする

学校説明会の開催時間は平均 1 ～ 2 時間程度。詳しい内容が資料でも配布された場合は、話の内容を逐一メモする必要はありません。先生の説明をじっくり聞いて、そこで感じた印象をもとに学校訪問シートの「評価」欄に○をつけていきましょう。細かいデータよりも、学校に足を踏み入れたとき、また、先生の話聞いて感じた第一印象の方が当たっていることが多いものです。

学校訪問シートは<詳細版>と<簡易版>の2タイプをご用意していますので、使いやすい方をご利用ください。たとえば、<詳細版>では、行事や部活動、進学先の記入欄がありますが、こういうことの概要は配布資料でわかることが多いので「なかでもうちの学校はここに力を入れている」「ほかの学校とはここが違う」といったことを中心にメモしておく、あとで複数の学校を比較する際に、役立ちます。

< point > 入試の説明は、ここをチェック！

3 ～ 5 年生の方は、まずは「出題方針」「採点基準」「前年度との変更点」を中心にメモしておきましょう。学校によっては次年度の注目テーマや漢字の減点基準などを細かく解説してくれる場合もあります。また、入試の変更点は、受験学年でなくとも次年度の入試動向に影響するかもしれないということをふまえ、チェックしましょう。

STEP3 「志望校選定シート」を記入する

●候補の学校を一覧にして、確認しましょう

何校か足を運び、「行きたい学校」のイメージがある程度固まったところで、「志望校選定シート」に記入しましょう。学校訪問のたびに記入していくのもいいですが、まずは第一志望校を決めることを目的に、5 年生の後半以降、志望校合格判定のある模試の受験が始まるころに使用していただくのがおすすめです。

また、第一志望校以外でも、志望校として候補に入れておきたい学校の「学校訪問シート」や学校案内、募集要項などの資料をもとに、成績や校風、お子さまの気持ちなど、さまざまな視点から見ながら記入をしておきましょう。必要に応じて候補となる学校も、随時追加しておきましょう。

< point > 難易度に幅をもたせて選びましょう

志望校については幅広い難易度のなかからよい学校を探しておくことが大切です。「志望校選定シート」には「偏差値」という記入欄がありますが、公開模試の主催団体が公表している偏差値表から最新のものを記入し、選んだ学校の難易度が偏っていないか、確認しておきましょう。また、偏差値は模試ごとに変動するものなので、一つの模試で、常に最新の表を参考にするようにしてください。